

国文白百合

49

『古今集』春の部下の構造

- 左右対称の対応関係という観点からの分析— ……平沢 竜介…1
『源氏物語』の薫という人物と『孝経』の受容関係
……………蔡 芸…15
「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」の解釈
—芥川龍之介「おしの」・北原武夫「マタイ伝」— ……佐藤ゆかり…23
三島由紀夫『春の雪』—綾倉聡子という女— ……田中あゆみ…35
白百合女子大学図書館蔵『五葉』（荒木田麗女）の本文—「呉竹」—
—〈江戸時代における『うつほ物語』の享受史研究の一環として〉—
……………三浦 則子・室城 秀之…47

小特集 名前は誰のものか—現代小説とマンガの検討から—

- ……………茂木謙之介…58
表記し分ける語り手
—津村記久子「ボトスライムの舟」を読む— ……江藤広一郎…60
名前をめぐるアンビヴァレンスと他者性
—鷺沢萌「眼鏡越しの空」を中心に— ……康 潤伊…70
動物の名付けをめぐる対立—赤坂アカ『かぐや様は告らせたい
～天才たちの恋愛頭脳戦～』と動物倫理をめぐる—
……………西貝 怜…79

国語国文学科第四十九回生卒業論文題目……………90

大学院修士課程国語国文学専攻第二十二回生修士論文題目……………93

白百合女子大学国語国文学会

国文白百合投稿規定

- 一、本誌への投稿資格は、白百合女子大学国語国文学会会員に限ります。
- 一、投稿論文の採否には、本誌編集委員会があたります。
- 一、投稿論文の枚数は、四百字詰原稿用紙三十枚を原則とします。
- 一、投稿論文の原稿は、お返ししません。
- 一、投稿論文は、正副合わせて二部お送りください（コピーでも可）。
- 一、本誌五十号（平成三十一年三月刊行予定）の投稿締切は、平成三十年九月二十五日です。
- 一、投稿論文の送付先は、白百合女子大学国語国文学科研究室です。

編集後記

「国文白百合」第49号をお届けします。今回は十一篇の論考、翻刻を掲載致します。前号までの論考を継続、発展させたものに加え、はじめての試みとして、

日本文学協会大会のラウンドテーブルの報告内容に基づく「小特集 名前は誰のものか——現代小説とマンガの検討から——」を収録しました。このラウンドテーブルの企画運営には、本学大学院学生や科目聴講者が関わっており、呼称や名乗りに作用する様々な力学を明らかにしようとする刺激的な論考です。ジャンルや境界を越えた試みとして、今後も本誌の多様なあり方を探ってゆきたいと考えています。（井上隆史）

「国文白百合」 49号

非売品

平成三十年三月十五日 発行

〒一八二―八五二五

東京都調布市緑ヶ丘一―二五

白百合女子大学国語国文学研究室内

編集 白百合女子大学国語国文学会

発行 白百合女子大学国語国文学会

（電）〇三―三三三六―五〇五〇（代表）